２０２５年４月２８日

能勢初谷渓谷のクマガイソウと大阪大学総合学術博物館の記録

1：日時　　２０２５年０４月２４日（木）１０時半　２６名

2：集合場所　　能勢電鉄妙見口駅

3：行程　　妙見口駅～クマガイソウ群生地～昼食地～妙見口駅～石橋阪大前～大阪大学総合学術博物館～終了会

4：概要

妙見口駅は大阪府能勢町にある、大阪最北端にある自然豊かな駅。ハイキングの起点にも人気。

駅から徒歩で約一時間かけて初谷渓谷方面へ向かう。

道中は住宅街を抜け、徐々に山道・渓谷沿いの自然道に入る。案内看板あり。迷いやすい箇所もあるので地図やナビがあると安心。

初谷渓谷は小川が流れる静かな渓谷。新緑が美しく整備された遊歩道と、ややワイルドな山道が混在。一部、滑りやすい場所や細い道もあるため、歩きやすい靴が必須。

クマガイソウはラン科の多年草。扇状に広がった葉と、袋状の花が特徴。

日本の限られた場所にしか自生せず、非常に貴重。
初谷渓谷では地元の人々によって保護されており、群生を見ることができる。
昨年盗掘がありカギがかかっていた。

見頃は４月下旬～5 月初旬。今回はちょうど開花時期で美しい姿を観賞できた。

周囲の自然（新緑や他の山野草）も美しく、癒される時間だった。

能勢電鉄妙見口駅

クマガイソウ
（写真提供大石さん）

4/24　初谷渓谷でのスナップショット
（写真提供大石さん）

２０２５年４月２８日

集合写真(大阪大学総合学術博物

マチカネワニの化石

博物館の概要

- 所在地：大阪府豊中市待兼山町 1-20
- 開館時間：10:30～17:00（最終入館 16:30）
- 休館日：日曜・祝日・年末年始
- 入館料：無料
- アクセス：阪急宝塚線「石橋阪大前」駅より徒歩約 10 分

主な見どころ

1. マチカネワニの全身骨格化石

約 45 万年前の地層から発見された、全長約 7 メートルのワニの化石。日本で初めて見つかったワニ類の化石であり、世界的にも貴重な標本です 。

2. 科学技術の黎明期を伝える展示

- 1939 年に製作された国産第 1 号の電子顕微鏡
- 日本のコンピュータ開発の先駆けとなった真空管計算機

これらの実物展示を通じて、日本の科学技術の発展を支えた大阪大学の研究者たちの情熱が伝わってきます 。

3. 大阪大学の源流と歴史

江戸時代中期に創設された「懐徳堂」と、江戸時代末期に緒方洪庵が創設した「適塾」に関する資料を展示。これらは大阪大学の精神的源流であり、日本の近代文化の黎明期を築いた若者たちが学んだ場所です 。

4. 待兼山の自然と考古学的遺産

博物館内には、キャンパスから発掘された埴輪や土器などが展示されており、考古学ファンでなくても見入ってしまいます。

記録 B グループ高津